

こちらの手の中にいくつ?
3までの補数あそび

1)実演で行う。「玉を3<ください」と子どもから3<真う。
2)子どもに分からないように両手に分けて握り隠す。
3)片手を開いてもう一方の手の中の数を当てさせる。
0と3、1と2、2と1、3と0をリズムにくり返す。
4)難度は個人差が大きい。遊び感覚でやること。

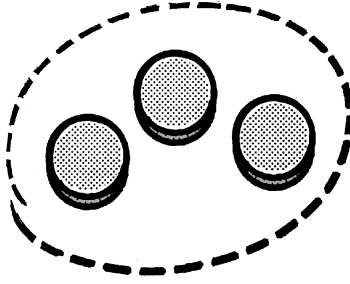
a) 3までの補数を具体的に想像し正否を体験することで、
数のイメージを鍛える。

b) 思考の集中力。

特定用具:不要
Date:



玉であそぼう



こっちはいくつ?

